

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	個別サポート支援 あっぶるきっず		
○保護者評価実施期間	2025年2 月10 日 ～ 2025年2 月21 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年2 月6 日 ～ 2025年2 月14 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月10 日 ～ 2025年2 月10 日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9 (回答数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月14 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から療育で関わっている支援員が訪問に伺うことで、より丁寧な共有ができること。	療育的な視点と保育的な視点のそれぞれの視点を大切にしながら、実情に合った支援や相談に応じるようにしている。	それぞれの立場が持つ強みを認識し、対象児童の過ごし方をより豊かにするための話し合いと情報の共有を続けていく。
2	訪問先の実態に合わせた支援を行っていること。	訪問先の状況、支援員の配置人数を踏まえ、訪問日程の調整、支援の内容の検討を行っている。	年度が変わる期間は、頻繁な情報共有を行い、訪問先とのスムーズな関係づくり、適切な実態把握を心がける。
3	保護者様との情報共有を行っており、ご本人、ご家族様の適切なニーズの把握に努めていること。	訪問支援時の細やかな支援内容や様子をお伝えし、ご家庭での様子も伺っている。	細やかな情報の把握を心がけ、ご本人やご家庭の困り事を把握していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先での支援環境との違いが大きいこと。	事業所での活動は個別対応が中心であるため。	支援環境の違いを理解した上で、保育環境に応じた支援、助言が行うことができるようにする。事業所での個別支援を訪問先の支援に反映させる方法について、柔軟に考えていく。
2	保育所等訪問支援事業が初めてだという園もあるため、園に協力を依頼して信頼関係を深めていくことが必要だと思われる。	近隣で訪問支援事業をしている事業所が少ないこともあり、どのような内容で、どのようなメリットがあるのかが周知されていないため。	実際に訪問支援を実施することで、訪問支援事業のメリットを理解してもらう。園や保護者様にとって、「プラスになった」という成果や実績を積み上げられるように努める。
3	訪問支援後に、担任の先生と振り返りを行う時間が確保しづらいこと。	担任の先生が他の保護者の方の対応をしており、その時間と訪問支援後の振り返りの時間が被ってしまうため。	担任の先生に予め、訪問支援後のフィードバックの時間の確保をお願いし、落ち着いた状態でご本人の様子、支援内容について共有する。時間が確保できない場合は、保育中や園へのお迎え時に情報を共有できる機会を設ける。

公表

保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名 個別サポート支援 あっぶるきつず

公表日 2025 年 3 月 12 日

利用児童数 10人

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6	1		3	(記入なし)	本人が専らで楽しんで使っている教材を、訪問支援に使用していきます。また、本人の特性に合わせた環境作りができる教材を使用していきます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5	2	1	2	(記入なし)	個室での面談等、プライバシーに配慮した対応を継続してまいります。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8		1	1	(記入なし)	これからも保育所等訪問支援事業の目的を保護者様と共有し、効果的な支援を目指します。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7	2	1		(記入なし)	今後も保護者様のニーズを大切に、支援を行ってまいります。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8	2			(記入なし)	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	9	1			(記入なし)	今後もこどもの特性等に応じた専門性の高い支援を行ってまいります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	9			1	(記入なし)	今後も、保護者様からお伺いしたニーズや日常の様子、園や事業所での様子を基に個別支援計画を作成していきます。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	7	1		2	(記入なし)	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	8	1		1	(記入なし)	今後も引き続き、訪問支援の提供すべき内容を踏まえ、具体的な支援を考え、計画に取り入れてまいります。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	9			1	(記入なし)	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	9			1	(記入なし)	今後も訪問先施設状況を適切に把握し、十分に配慮した支援を行ってまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				(記入なし)	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	2		1	(記入なし)	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	2	3	1	(記入なし)	今後実施を検討してまいります。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	9	1			(記入なし)	今後もこどもの状況をきめ細やかにお伝えし、課題について共通理解を図ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		3	(記入なし)	引き続き、訪問後の報告に加え、保護者との面談を行って行きます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	9			1	(記入なし)	今後もお子様の気持ちや保護者様のご希望をお聞きし、支援につなげていきたいとおもいます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1	(記入なし)	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	9			1	(記入なし)	今後もジェスチャーや絵カード等の視覚支援、言語翻訳、ルビ振り等の様々な手段を活用してまいります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	7			3	(記入なし)	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9			1	(記入なし)	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10				(記入なし)	今後も訪問支援後、保護者に対して丁寧な対応を心がけてまいります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		2	(記入なし)	今回の自己評価の集計結果を含め、ホームページに活動内容を掲載いたします。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				(記入なし)	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7			3	(記入なし)	
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1	(記入なし)	今後も安全計画策定にかかわる事項についてのお便りを発行し、取組内容について周知してまいります。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10				(記入なし)	
	28	事業所の支援に満足していますか。	10				(記入なし)	今後もご満足いただける支援の継続に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025 年 3 月 12 日

個別サポート支援 あつぷるきっず

利用児童数

10 (対象者数：9)

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	4		・療育での姿や、支援方法など共有できてよかった。 ・施設での様子をしっかりと聞くことができた。	支援内容に関して、訪問先施設様に負担なく取り入れていただける助言や説明を心がけてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	4		・具体的な関わり、支援方法が聞けた。 ・本児に対して多様な対応の仕方もあることや共通していることが分かった。	今後もご満足いただけるように、支援の質の向上に努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	3		・特に質問することがなかった。 ・質問に対して分かりやすく回答いただけた。	訪問先施設様からのご質問に対し、適切な回答ができるよう、職員の専門性の向上を図ってまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	5		・支援計画が分かりやすく、保護者の思いや支援の方針を共通確認できたのでよかった。 ・姿の共有ができた。療育での活動も知る事ができた。	今後も訪問先施設様の課題や困りごとに丁寧に寄り添ってまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	3		・お迎え時間など決まった時間に来てくれている。 ・情報交換ができ、今後の支援の参考になった。 ・引き続き対応してほしい。	今後もご満足いただける支援の継続に努めてまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・お迎え時の時に共有をしているので、落ち着いて話をする機会があればもっと相互協力ができるのではないかな。					・課題に対して、こどもと支援者が実際に関わる様子をご覧いただくことはなかなか難しいですが、できる限り具体的に助言を行っていくように努力したいと思います。 いつもお忙しい中訪問支援を受け入れて下さり、心より感謝申し上げます。また、集団の中でのこどもの様子を見させていただいたり、こどもについて細やかに情報を共有していただき、誠にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。	

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
個別サポート支援 あつぷるきっず		2025 年 3 月 12 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		○	教材等は使っていません。	本人が療育で楽しんで使っている教材を、訪問支援に使用しています。また、本人の特性に合わせた環境作りができる教材を使用しています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		時には、多職種で保育所等訪問支援を行っています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者、訪問支援員を含む全職員で情報を共有し、対応を検討しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者との連携を密に取り、業務改善につなげています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に会議を行い、職員間で意見を交換できる場を設けています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて検討してまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に一回は法人内研修があり、職員の資質の向上を図る機会を設けています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		こどもと保護者のニーズ及び訪問先の状況等を踏まえ、保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画を作成する際には、職員全員で会議を行い、今後の支援方法について共通理解の下で検討しています。その際、こどもの最善の利益を考慮して検討を行っています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			今後も訪問先施設の担当者等の意向をお伺いする機会を設けてまいります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画は全職員間で共有され、計画に沿った支援を行っています。	今後も保育所等訪問支援計画に沿って支援を行ってまいります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		関わるスタッフや保護者への聞き取りから、アセスメントを作成しています。また、行動観察を行い、一人ひとりの子どもに寄り添った支援を行っております。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子様の様子にあった目標を設定し、具体的な方針・手立てを保護者様や訪問先施設に分かりやすく明記しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画は全職員間で共有され、計画に沿った支援を行っています。	今後も保育所等訪問支援計画に沿って支援を行ってまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には必ず打合せを行い、チームで連携して支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には必ず振り返りを行い、保育所等に訪問した職員が他の職員に、気付いた点等を共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			今後も訪問先の理念や支援手法を尊重し、一方的な支援にならないように留意してまいります。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		保護者様、訪問先施設に対し、実施記録をお渡ししています。実施記録では、お子様の様子についての記録とともに、今後の支援の方針について具体的に提案しています。	

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の適切な見直しを行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		こどもの状況をよく理解した者が参画しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ケース会議を通じて、他の障害福祉施設と情報共有を行っています。また、保育園や幼稚園等にこどもを送迎する際に、こどもの事業所での様子について園の先生方に共有しています。	関係機関との連携が不十分な点もあるため、今後関係機関とのさらなる連携を図れるよう努めてまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学支援シートを通じて、子どもの特性や支援において配慮すべき点について、小学校と情報共有と相互理解を図っています。	今後より多くの児童について、小学校や特別支援学校(小学部)との間で情報共有を図ることができるよう努めてまいります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修に積極的に参加し、職員の質の向上に努めています。	今後も質の向上に努めてまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		今後参加を検討してまいります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援実施後に保育所等訪問支援実施記録を作成し、お子様の様子や課題について共有しています。保護者様からご相談を受けた際には、面談の機会を設けています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会は設けることができていません。今後、そうした取り組みの実施を検討してまいります。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧な説明を行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事業の趣旨や訪問支援の目的等について説明を行っています。訪問先施設の担任の先生等とお話し、お子様の様子や園の意向をお伺いする機会を設けています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもや家族の意向をお伺いし、保育所等訪問支援計画について修正や内容の追加を行ったうえで、計画を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容について説明を行い、保護者からの同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		懇談時やご相談を受けた時には、保護者様の悩み等にて丁寧に寄り添い、助言と支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会は開催することができていません。	今後、年に1回は、保護者も参加できるイベントを考えていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れに対して、迅速かつ適切に対応しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPに活動概要を掲載しております。	
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きロッカーに保管しています。廃棄書類等については、ゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ジェスチャーや絵カード等の視覚支援、言語翻訳、ルビ振り等を活用しています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先と積極的にコミュニケーションを取り、訪問先からのご相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		支援実施後にカンファレンスを必ず行い、保護者様へのフィードバックへとつなげています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援実施後に、保育所等訪問支援実施記録を作成し、保護者様、訪問先施設にお渡ししています。また、口頭でも支援内容の共有を行っています。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きロッカーに保管しています。廃棄書類等については、ゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		一緒に支援方法を考えていく協力者である、ということを理解していただけるように留意しています。	専門的な立場として、より効果的な関わりの方法を提案できるように努めてまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルに関して策定し、内容の見直し、更新を随時行っています。職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理を十分にした上で支援を行っています。安全管理に必要な研修や訓練を行い、職員は安全計画の内容を定期的に確認しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		保育所等訪問支援においてのヒヤリハット事案は発生していませんが、事業所内でのヒヤリハットを全員で共有し、再発防止に留意しています。	ヒヤリハット事案に関する情報収集を行い、今後ご利用者様の安全確保を徹底してまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関するマニュアルを策定し、研修を実施しています。全職員が定期的に、日々の言動の振り返りを行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に十分な説明をし、書面にて同意を得ています。	